

一般質問通告書一覧表

令和5年第3回定例会

| 質問 順位 | 質問 方式 | 質問者 | 質問事項 | 質問 要 旨 | 答弁者 |
|----------|----------|-------------|--|--|-------------------------------|
| 1 | 一問 一答 | 無藤智恵美 議員 | 自然エネルギーとして期待される太陽光発電をよりサステナブルに活用するための規制の導入について | <p>①市の森林や生物多様性の保護、生活の基盤となる地球環境を守る事に対する市の姿勢について</p> <p>②太陽光発電施設を建設するためのガイドラインの詳細について</p> <p>③ガイドラインに則らなかった業者に対する法的な罰則はあるか</p> <p>④ガイドラインに則り申請された件数と未申請件数について</p> <p>⑤本市における発電施設の事業者について、個人と企業の割合について</p> <p>⑥過去10年間に、市内で太陽光発電施設建設を理由として行われた森林伐採はどのくらいの規模か</p> <p>⑦森林を伐採し、発電施設が建設され、自然や生態系が破壊される事について市長と副市長の考えは</p> <p>⑧お話したことを組み込み、ルールを策定することに問題や国からの規定などはあるか</p> <p>⑨市の財産である市民の生活と企業、自然。本市を守るためのルール策定をするか</p> <p>⑩策定する場合、完成までの期間はどのくらいか</p> <p>⑪本市の財産は何かを具体的に市長に伺います</p> | 市長 副市長 地域振興部長 市民生活部長 |
| 2 | 一問 一答 | 鈴木正志 議員 | 新たなまちづくりについて | <p>(1) 算市政2期目の新たなまちづくりについて伺います。</p> <p>①「持続可能な地域づくりプラン」について</p> <p>②「稲敷<新>未来ビジョン」について</p> <p>(2) 町村合併・市政施行20周年記念式典及び記念事業について伺います。</p> <p>①記念式典の開催計画について</p> <p>②記念事業の開催計画について</p> | 市長 副市長 行政経営部長 |

| 質問 順位 | 質問 方式 | 質 問 者 | 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 | 答 弁 者 |
|----------|------------|------------------|--|--|-----------------------------|
| 3 | 一 問 一 答 | 高 山 久 久 員 | 1. 文化財の 保存・活用に ついて | ①無形民俗文化財の継承を担う人材の育成と体制強化について ②文化財保存活用地域計画や個別の保存計画の策定について ③歴史的資産を活用した観光行政の推進について | 市長 教育長 地域振興部長 教育部長 |
| | | | 2. 市有資産 の有効活用及 び公共施設 の利活用につ いて | ①コロナ禍後の市内公共施設の利用率向上に向けた取組み及び利用率などのデータ管理の状況について ②市内公共施設の利用申込み及び決済について ③ICTを活用した公共施設の予約システム導入について ④市有財産利活用における透明性の確保について | 市長 副市長 行政経営部長 教育部長 |
| 4 | 一 問 一 答 | 寺 崎 久 美 子 久 員 | 1. 施設管理 一元化につ いて | 維持管理、固定資産等を各部署管理からデジタル一元管理・スマート化することについて提起します。 (1) 維持費、稼働率、収益、財産管理等がバラバラで管理され、情報の共有が図られておらず非効率であり、ランニングコストのバラつきや費用の膨張がみられます。 ①全施設の経費、施設の情報共有(各々施設管理状態、費用、仕様等)について ②維持費、稼働率の可視化について ③鍵の貸し出し省力化と利便性(スマートロック導入) 完全機械警備について (2) 人口減少による税収減対策にDX推進デジタル一元化でコスト削減・職員業務改革・市民サービスについて伺います。 | 市長 副市長 行政経営部長 教育部長 |
| | | | 2. 災害から 命をどう守 るか | 線状降水帯が発生し、短時間に記録的大雨が各地に被害をもたらしている昨今、これまで以上の事前防災強化、先を見越した防災について提起します。 (1) 台風2号による大雨情報の取得と冠水予知・避難所開設の対応は事前防災行動計画に基づいた行動、安全確保の市民と行政の整合が図られていたか伺います。 ①情報の取得、判断、情報の周知の仕組み、タイムスケジュールについて ②浸水想定深を活用した取組み、AIの導入でリアル体験について ③歴史から学び、未来につなぐ取組みについて (2) ワークショップ等の開催、こども(学校) 大人(家族) 地域のコミュニティの強化による命を守る事前防災について伺います。 | 市長 副市長 危機管理監 教育部長 |

| 質問 順位 | 質問 方式 | 質 問 者 | 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 | 答 弁 者 |
|----------|------------|----------------|---|--|---|
| 5 | 一 問 一 答 | 山 本 彰 治 員 | 1. りんりん ロードの活用 法について | 2016年に自転車活用推進法が制定され、つくば霞ヶ浦りんりんロードは、2019年に全国で6か所あるナショナルサイクルルートに制定されました。自転車の活用、サイクルツーリズムは、ここ数年前から、SDGsの観点や健康増進のために、注目されている分野です。全国を代表するりんりんロードの今後の活用方法について伺います。 | 市長 地域振興部長 |
| | | | 2. 高齢者に対する補聴器購入補助について | 高齢性の難聴は、70歳代の半数になっていると言われており、認知症の原因になるとも言われています。今後さらに高齢化が進む中で、聞こえにくいことによる更なる疾患を予防し、いきいきと暮らしていくためにも、高齢による難聴者に対して補聴器の購入補助の導入について伺います。 | 市長 保健福祉部長 |
| 6 | 一 括 質 問 | 篠 田 純 一 員 | 1. 社会教育 について | 社会教育の重要性と公民館のあり方について、その認識を伺います。 | 市長 副市長 教育長 教育部長 |
| | | | 2. 市内公共 施設の 使用料 について | 市内公共施設使用料の無償化を検討してみたいかがか伺います。 | 市長 副市長 行政経営部長 教育部長 |
| 7 | 一 括 質 問 | 染 谷 久 仁 桂 員 | 1. 本市における 少子化 対策への 取組み について | 本市の少子化対策への取組みの現状について、結婚、妊娠・出産、子育て、教育、仕事それぞれの過程における大人への支援策、こどもへの支援策を伺います。また、少子化対策として、本市で取り組める施策について、本市ならではの取組みを伺います。 | 市長 副市長 行政経営部長 地域振興部長 保健福祉部長 教育部長 |
| | | | 2. 本市における 英語教育 の取組み について | 本市は、日本の玄関口である成田空港に30分と近距離であり、今年度からは航空業界学習支援事業の実施を通じて、将来のこども達のために取り組んでいる英語教育の内容について伺います。また、教育の格差を無くすべく、今後の英語教育のあり方について具体的な施策を伺います。 | 市長 教育長 教育部長 |

| 質問 順位 | 質問 方式 | 質 問 者 | 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 | 答 弁 者 |
|----------|------------|----------------|--|---|----------------------------------|
| 8 | 一 問 一 答 | 椎 野 隆 議 員 | 1. マイナンバーカードの運用に関し懸念されることについて | ①マイナンバーカードの発行に関する問題点について ②運用上の問題点について ③制度の問題点の整理とその対応について | 市長 行政経営部長 市民生活部長 保健福祉部長 |
| | | | 2. 第3次産業のうち商業等生活に係る事業の活性化について | ①本市の3次産業のうち、直近10年間の卸売り・小売業等の推移の分析と対策について ②対策に係る本市の予算措置の状況は ③市内の商店街の独自の活動にはどのようなものがあるか ④茨城県の「いばらき高齢者優待制度(いばらきシニアカード)」について、取扱店舗数及びカードの発行枚数は ⑤「いばらき子育て家庭優待制度(いばらきKids Clubカード)」について、取扱店舗数及びカードの発行枚数は ⑥これらの制度については、地域の活性化に繋げるため、広く市民に周知を図るべきと思うがいかがか | 市長 副市長 地域振興部長 保健福祉部長 |
| 9 | 一 問 一 答 | 松 戸 千 秋 議 員 | 介護保険による特定福祉用具購入及び住宅改修における「受領委任払い」の利用について | 現在、本市では介護保険における介護サービス、介護予防サービスが利用できます。サービスの中でも高額となる”住宅改修費”は、いったん利用者が全額改修費を支払い、後日改修費が支給される「償還払い」となっております。利用者負担を軽減できる「受領委任払い」とする考えについて伺います。 | 保健福祉部長 |
| 10 | 一 括 質 問 | 根 本 浩 議 員 | 農業の一人負の構造が農村地帯の過疎化に拍車をかけている現状について | 本市の基幹産業と言われている農業ですが、その農業面積は昔から同じように見えますが、例えば1件で2ヘクタールを耕作していた人たちが25人いて、50ヘクタール耕作していた時と違い、今では一人で耕作する時代になり、他の24人は働き口を求めなければならなくなりました。世に言う移動動態が加速、農村地帯の人口減少の一因を生んでいると考えます。どのような対策を考えているのか伺います。 | 市長 副市長 行政経営部長 地域振興部長 |

| 質問 順位 | 質問 方式 | 質 問 者 | 質 問 事 項 | 質 問 要 旨 | 答 弁 者 |
|----------|------------|--------------|------------------------|--|--------------|
| 1 1 | 一 問 一 答 | 浅 野 信 行 員 | 1. 認知症基 本法について | <p>2023年6月14日、認知症基本法案が参議院本会議で可決成立しました。認知症基本法とは、認知症がある人でも尊厳をもって社会の一員として自分らしく生きるための支援や、認知症予防のための施策を定めるための法律です。</p> <p>第1章第9条で、認知症の日は9月21日。認知症月間は9月1日から30日に定められました。認知症基本法では、認知症とどう向き合っていくか、その方針が示されました。本市の取組みを伺います。</p> | 市長 保健福祉部長 |
| | | | 2. ハザード マップについ て | <p>障がいの特性に応じた水害ハザードマップを作成している自治体は、作成中・検討中を含めても全体の5.9%しかありません。本市の現状と取組みを伺います。</p> | 市長 危機管理監 |